

教科(科目)	産業社会と人間	単位数	2単位	学年(コース)	1年次 (原則必履修科目)
使用教科書	「産業社会と人間」学事出版				
副教材等	なし				

1 学習目標

自分の生き方と進路について主体的に考え、何を学ぶべきかの目標を持ち、自分のプランに合わせて、2年次以降の具体的な科目選択で何を選択したらよいかを学びます。

2 指導の重点

- ・授業ごとにまとめや感想等を産社ノートに記入し提出させることで、事項をまとめる力や表現力を高める。
- ・グループワークやアクティブラーニングを導入し、主体的に思考する力を養う。

3 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
様々な職種・産業を知り、それらの社会的意義、地域での役割などを理解しようとしている。	自分の興味や適性に応じて進路を考え、それに応じた科目選択を行おうとしている。	それぞれの学習内容に対し、意欲的に取り組もうとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	様々な職種・産業を知り、それらの社会的意義、地域での役割などを理解しようとしている。	自分の興味や適性に応じて進路を考え、それに応じた科目選択を行おうとしている。	それぞれの学習内容に対し、意欲的に取り組もうとしている。
	各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

5 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	I 導入 1. ガイダンス	教科書 プリント	・総合学科の特色および「産業社会と人間」のねらいを理解する。	10	「振り返りシート」・レポート提出 b, c
5	II 自分を知る 1. 学習到達度 検査 2. 地域理解	教科書 プリント	・将来の進路選択を円滑に進めるために、現在の自分の学習到達度を知る。 ・自分が身を置く地域を深く知り、将来像をイメージする。		
5 6	III 履修計画 1. 系列・科目 別ガイダンス 2. 履修のための 体験授業 3. 選択カウンセ リング 4. 選択レポー ト	教科書 プリント	・2年次以降の科目選択について、各科目の学習内容と、その知識や技術が必要とされる進路を理解する。それにより、自身の希望進路に応じた科目を選ぶ力を身につけ、主体的に科目選択を行う。	12	「振り返りシート」・レポート提出 a, b
7 9 10	IV 地域理解と 防災・減災学 習 1. 現地研修 2. ハザードマ ップの理解 3. マイタイム ラインの作成	教科書 プリント	・地元の地形の特徴を知り、どのような災害が起こりやすいか理解する。 ・想定される災害が実際に起こったとき、自分がとるべき行動を行動を理解しておく。	15	「振り返りシート」・レポート提出 a, b
11 12 1	V 社会の中で 生きること 1. 進路探究 2. 防災・減災 学習 3. 地域が抱え ている課題を 理解し、その 解決のために 将来できるこ とを考える	教科書 プリント	・来年度の、上級学校の見学のための準備をすることで、自分の適性を考える。地域に根ざした企業のあり方を理解する。 ・地域の特徴を知り、起こりうる災害とその対処法を学ぶ。 ・地域が抱えている課題を理解し、解決のために将来やりたいことを考える。 ・実際に起こった災害を参考にして、今後の取り組みを考える。	17	「振り返りシート」・レポート提出 b, c
2 3	VI なにを学び ますか、どう 生きていきま すか		・1年間を通じて学んできたことを振り返り、不足している点やより深く学習してみたい点を見つけさらに深く学習する。 ・来年度に向けて、追究してみたい課題を発見する。	16	「振り返りシート」・レポート提出 a, c

計70時間(50分授業)

6 課題・提出物等

振り返りシートを毎回提出してもらいます。

7 担当者からの一言

「世の中にはどのような職業があって、自分はどんな仕事に適しているのか。」「社会人として心がけなければならないことはどんなことか。」産社の授業を生かして、自分の進路をしっかりと見つめてゆきましょう。また、グループワークも行われます。自分の意見をしっかりと表明するなど、積極的に取り組んでゆきましょう。

(担当：寺嶋・小嶋・小林・池田・柳澤・山口・真田)